

第11回 日本の木の家づくりサミット in 東海

地域で強烈な光を放つイノベーター 競争力の源泉を紐解く ～ 営業・設計・工事(現場管理・大工) 国産材住宅3つの活路 ～

日時 2021年6月15日(火曜日) 10:30～16:40

配信方法 ZOOMライブ配信

東海サミットでは、withコロナ時代をもろともせず、果敢に変革を推し進める8人のイノベーターにご出演いただきます。

「圧倒的なその競争力の源泉は何か？」
「新時代を勝ち抜くために、地域の住宅関係者が今なすべきことは？」

営業・設計・工事それぞれのイノベーション事例を元に、国産材住宅3つの活路を考えます。

参加費

会員

一般

1口 10,000円
(視聴2デバイス×2台)

1社 5,000円

※ 5口以上は、視聴デバイス数無制限

※ 視聴デバイス数無制限

※ 社内外の皆さまお誘い合わせの上、ぜひご視聴ください。

協力会員・賛助会員PR用CM放映決定!

サミット当日、協力会員・賛助会員PR用CMを放映いたします。放映を希望される方は、地球の会事務局までお問い合わせください。

※ CM放映 無料(サミット参加費 必要)

テーマ1 <営業>
お客様の心に刻まれる
(株)安成工務店 「THEチーム営業の極意」



山口支店店長
廣瀬 宏幸氏



山口支店リーダー
藤本 久美子氏

テーマ2 <工事-現場管理①>
この業界で生きていく
新産住拓(株) 「女性現場監督の決意とビジョン」



工務部
農上 ひかり氏

テーマ3 <工事-現場管理②>
お客様からの“ありがとう”が溢れる
(株)エコ建築考房 「ミスター現場管理の仕事術」



執行役員
工務部部長
武藤 邦弘氏

テーマ4 <工事-大工>
なぜ大工に? (株)小林住宅工業
「女性大工の目に映る業界の今とこれから」



管理部部长
土屋 正子氏

テーマ5 <設計①>
新進気鋭の若手建築家
半海宏一建築設計事務所
「提言!工務店と建築家の住宅設計と関わり方」



代表
半海 宏一氏

テーマ6 <設計②>
若手工務店設計者が提唱 ひだまりほーむ
(株)鷺見製材 「目指せ!感動を生む設計」



設計部主任 中嶋 一将氏



設計部 中川 紗季氏

第4期分科会 活動報告

- ▶ 生産性向上分科会
- ▶ CS右肩上がり分科会
- ▶ 工務店のWEB育成戦略研究分科会



生産性向上分科会
リーダー
市川 正和氏



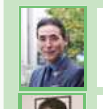
CS右肩上がり分科会
リーダー
池田 聖氏



工務店のWEB
育成戦略研究分科会
リーダー
三渡 真介氏

委員会 活動報告

- ▶ SDGs推進委員会
- ▶ 大工・職人育成委員会
- ▶ 採用委員会



SDGs推進委員会
委員長
石橋 常行氏



大工・職人育成委員会
委員長
大野 哲矢氏



採用委員会
委員長
相羽 健太郎氏

あすなろ会 活動報告

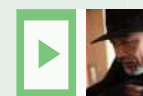


リーダー
小野 幸助氏

設計プレゼン講評



泉幸甫建築研究所 泉 幸甫氏
(代表 / 木の家設計・施工フォーラム建築家幹事)



無有建築工房 竹原 義二氏
(代表 / 木の家設計・施工フォーラム建築家幹事)

< 東海サミットお問い合わせ・お申し込み先 >

NPO法人環境共棲住宅「地球の会」事務局
TEL: 06-6292-8121 FAX: 06-6292-8122
✉: info@chikyunokai.com





伝統的な京都の街で、今風の「新しい京町家の家づくり」を展開

MEMBER'S PROFILE

株式会社 竹内工務店
代表取締役 竹内明氏



京都府京都市

『その昔、筏流して
材木を運び集めた集積地
“嵯峨”で創業』

木の仕事を大切に
山と町をつなぐ工務店』

<https://www.takeuchi-kyoto.jp/>



新築京町家「エル・ラガール」(内観)



嵯峨鳥居本の家(内観)

100年以上続く嵯峨・嵐山の老舗工務店

現社長の祖父、竹内新次郎氏が明治45年にここ嵯峨野の嵐山に建築業として創業したのが竹内工務店の始まりだった。当時この嵯峨三条通は、桂川の上流京北地区から運搬されてくる材木の集散地で、材木屋がひしめき、とても活気があったという。今はその名残りはほとんど見られなくなって久しく、一帯は年中観光客がいっぱいで桂川にかかる渡月橋から天龍寺、二尊院等のお寺が立ち並び界隈は、まるで休日の繁華街のように、歩くのもままならないほどの人波になる。もっとも、昨年からの新型コロナ渦の中、今は殆ど人通りがなく、おうかがいした日は少し雨模様で、よく言えば嵐山の風情がゆっくり楽しめる街だった。竹内工務店はそんな嵯峨嵐山の中心地にほど近い街中にある。

京都市の「京の仙人工房」にも選ばれた、嵯峨・木のこゝろ「風」

1984年に法人化されたころ入社した現社長は、それまで公共

物件から非住宅まで、いわゆる建設業として色々なものを建設していた事業内容を、少しずつ住宅中心にシフトしていった。その方向は、2007年に嵯峨において山の専門家である林業家と住まいの専門家である設計者・工務店・インテリアデザイナー・照明デザイナーなどが一緒になって「風(ふう)」という活動組織を立ちあげたことによってさらに具体化していった。この会は、山を活性化するために、木を使うことの大切さや木を使った生活の気持ちよさや楽しさを伝える木育をはじめ、千年の都「京都」が育てきた北山杉などの木材、それを知り尽くし生かす職人の技、古き良き伝統を大切に守りながら今のライフスタイルに融合させるアイデアを、それぞれの立場と職能を活かし発信している。この活動は、京都市の森林資源を有効に活かした街づくりを推進しようという政策として2008年、市の各行政区に設置された「京の仙人(そまびと)工房」(森の窓口)のひとつに選ばれた。その拠点が、竹内工務店に置かれ木材の地産地消を推進し、国産材復活のため、「植林体験」を中心とした「里山交流会」、夏休みの「親子木工教室」、秋



株式会社竹内工務店(外観)



新築京町家「エル・ラガール」(外観)



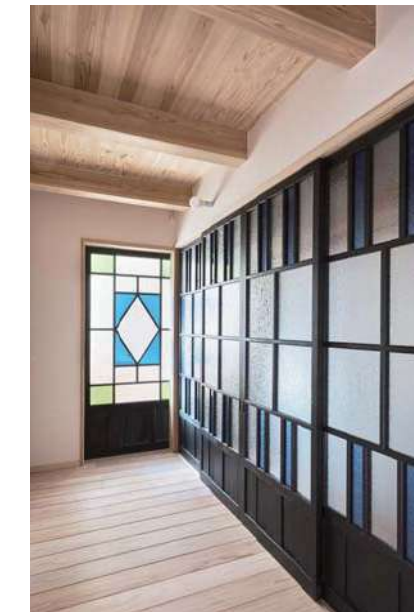
嵯峨小倉山O邸(内観)



嵯峨小倉山O邸(外観)



紫野の家(外観)



紫野の家(内観)

から冬にかけては「京都・木と山の写真コンテスト」等様々な参加交流活動が行われている。

京都の町家の家として他のエリアにも少しずつ浸透してきている。

「京町家」を新築展開へ

この活動などによって、地域の材を使った家づくりと共に竹内工務店は、京都らしい町家の知恵を生かした「新築京町家」という、京都の伝統的な数寄屋の様式を元にした、新しい和モダンな住宅を企画・開発。この25年位は、ほぼこのスタイルが、竹内工務店の住宅デザインの「顔」になっている。職人の手仕事を重視し、無垢の木材だけでなく、本物の材料をえらび、漆喰壁にこだわり、さらには家の形は街並みに溶け込む平入の玄関に、数寄屋風の格子、中庭、坪庭など、様々な伝統的な形も現代的にデザインの中に活かされている。北山杉の丸太を「床柱」だけでなく、室内インテリアとして使ったり、軒空間の丸柱として京都らしい外観デザインとして使うなど、伝統素材の新たな用途として開発されている。また、この新しい「京町家の家」は、京都だけにとどまらず、最近では大阪市内からも依頼があり、

お客様の受注ルートは京都らしく、人から人への紹介が基本

竹内工務店は、建築設計事務所から依頼の住宅も含め、年間15~20棟の新築住宅・大型リノベーションを施工しているが、京都は景観条例があり、特に嵯峨地域は風致地区・伝建地区等の規制が厳しい。建蔽率20%の所もあり、土地も安くなく住宅を建てる人たちの壁となっている。従って、住宅の営業活動も一般的に非常に難しい地域である。そして、竹内工務店のお客様の受注ルートは、ホームページとOBのお客様の紹介が40~50%、設計事務所からの受注、紹介が50%で、この状況はこの間殆ど変わっていないという。また「新築住宅の建築が難しい場所が大半ですから、京都市内の主な地場工務店で、モデルハウスを持っているところはほとんどありません。住宅の受注形態はどれも当社とよく似た状況だと思います」とのこと。お客様の購買行動においても京都という街は伝統的な形があるようだ。

若い人たちが中心になる京都のこれからの変化に期待

「しかし、最近では若い人たちが中心になってきており、お客様も随分変わってきました。これからは京都でも若い人たちが中心となっていく家づくりが進むと思われますので、大きく変わっていくのではないのでしょうか」とおっしゃる竹内社長。「いずれにしても京都は規制がとてつきつところですので、新しい販促の形がどこまで可能なのか、一つひとつ確認しながら展開をしています。私もあと5~6年くらいで若い世代にバトンタッチをしないとけないと考えているのですが、その前に、今展開している「新しい京町家」の住宅が若い人たちにどこまで浸透していけるのか、若い人たちと一緒にもう少し頑張らなければと思っています」。竹内社長のさわやかな笑顔と、意気込みが印象的だった。

大工・職人育成委員会企画『日独合同 大工職人育成ウェビナー』開催報告

2021年3月19日、「ドイツの旅大工職人から考える『日本の大工職人の育成』」をテーマに、日独合同ウェビナーを開催いたしました。

今回の出演者は、ドイツからご出演いただいた池田憲昭氏(日独森林環境コンサルタント)と、実際にドイツの旅大工職人を受け入れられた石橋工務店(長崎)の石橋光成氏。そして、当委員会委員長 大野哲矢氏。ウェビナーを通して、日本の大工職人育成のヒントが見えてきました。日本の木の家を支えるハイレベルな大工(棟梁)をどのような教育プログラムで育成するのか? 当委員会の今後の展開にご期待ください!



大工・職人育成委員会
委員長 大野 哲矢氏



Arch Joint Vision社
日独森林環境コンサルタント
池田 憲昭氏

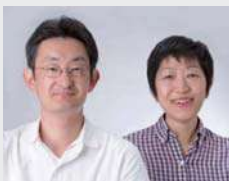


株式会社石橋工務店
代表取締役 石橋 光成氏

若手建築家会員設計住宅『リモート探訪シリーズ第1弾「大沢の家」』開催報告

地球の会では、設計担当者のスキルアップと、会員間で繋がることを目的とした新企画『若手建築家会員設計住宅リモート探訪シリーズ』をスタート。第1弾「大沢の家」を、2021年3月26日にオンラインで開催いたしました。

当日は、菰田建築設計事務所の「大沢の家」のご紹介を通じて、設計への想い・考え方について、菰田氏自らご説明いただきました。その後、木の家設計・施工フォーラム建築家幹事の泉幸甫氏より、師匠 泉幸甫氏から見た菰田氏の人柄と仕事への向き合い方についてお話いただきました。



菰田建築設計事務所
菰田 真志・晶氏



木の家 設計・施工フォーラム
建築家幹事 泉 幸甫氏



木の家 設計・施工フォーラム
工務店幹事 大野 哲矢氏

地球の会『設計セミナー2020 in OSAKA』開催報告

2021年3月17日に、オンライン講義と実作品見学を組み合わせた『設計セミナー2020 in OSAKA』の全6回のカリキュラムが修了いたしました。

今期の設計セミナーテーマは、「素材を生かした家」。コロナ禍にあって急遽カリキュラムを変更。オンラインを軸に竹原先生に講義をしていただきました。実作品見学会では、山口県の小郡幼稚園と安成工務店のギャラリー & カフェ nenrie(ネンリエ)を訪問。ダイナミックな木の組み方のみならず、建築の面白さ・楽しさを再発見する機会となりました。



木の家 設計・施工フォーラム
建築家幹事 竹原 義二氏



地球の会『協力会員 特集』 第十二号

プレイリーホームズ株式会社

[会社概要]

弊社は無垢フローリングを中心に、室内ドアや玄関ドア、天然石仕上材など、内外装問わず「本物」にこだわった商品を世界各国から輸入するファブレスメーカーです。輸入材だけでなく国産材も各種取り揃えており、信州産材を使用した「あづみのシリーズ」や「マツスマイルシリーズ」を展開しております。

[トピックス]

■ 抗ウイルスコーティング塗装「TSVコート」をスタート!

TSVコートは、フローリング表面に付着したウイルスを分解・不活性化して感染力を抑えます。

フローリングは住宅の中でも面積が広く、人が直接手足で触れる機会の多い場所です。また床に座ったり、ときには寝そべったり、私たちはフローリングの近くで暮らしています。

TSVコートはフローリング表面に付着したウイルスを分解して不活性化するので安心です。

[会員へのメッセージ]

人がストレスを感じない住まい、それは古代から木・草・石・土の四つの要素でつくられた住まい。

私たちは、こちらを原点にして安心・安全・健康な住まいづくりに貢献する事を目指し、国産材を始め、海外から環境に優しい資源を利用した商品を取り扱っております。また、協力工場で住まいの構造から内装に至るまで無垢製品の製造を通して、ユーザーの皆様へ末長くお付き合いしていただける本物の商品の提供を目指します。

さくらい ひでや
代表取締役 櫻井 秀弥 氏

